



今回は、ついにこんなことになりました。お声をかけたら、すぐに全員になったのでした。これで全部です（顧問を除く）。皆生徒がいつもお世話になっている方たちです。ナミダの出るおもしろい。さ～て、生徒はどこにいますでしょうか？ 7人です。…ところで今気づきましたが、こうゆう時って、皆さんいい顔ですね。ご自分が一番生き生きしているときなのですね。

炊きだし 6月8日（土）曇りのち大雨、のち晴れ

9：00 元寺小路教会に集合・準備。 12：00 五橋公園 炊き出し 13：30 教会で反省会

お出での方40名。通常どおり列を作ってセット品・おむすび・豚汁配りといつものとおりの順番で進みました。たくさんの衣類もシートの上に並べられて、すっかりスタンバイしました。ところがそれから、この日、炊き出し始まって以来のできごとになりました。にわかには空があやしくなり、ポツポツと始まりました。シートをかぶせて木の下に皆で身を寄せ、空の落ち着くのを待ちました。でも、雨はしだいに強まり、ザーと音を立てて降りしきります。お祈りしてみても遅し。雨はますます激しくなりました。みんなで空模様の相談をしました。その時、「衣類提供中止」Wさんが宣言しました。そう言われて、皆さんが帰っていきます。そうして、おおかたの人がいなくなった頃、雨があがりました。「上がったから、衣類ほしい」と言い出す人がいて、持って行ってもらいました。雨で半分はグチャグチャでした。反省会の時には、雨を恨んだ話が続きました。そんな中でも、半年前から夜回り炊き出しに参加しているヨーロッパ人ボランティアグループの方たちは、こう言いました。

「とても楽しかったです。雨のおかげで、私たちはホームレスの方とも木の下でいろんな話をすることができました。ありがとうございました。」ニコニコして言いました。 このことばに、気づかないでいたたくさんのことを教わり、学びました。私たちは、どうして簡単に、そしてまたなんとすぐに、目の前の「不幸」に不幸を感じてしまうのでしょうか

このめったにない日の、同好会からの参加生徒たちに、幸あれ。1年生4人。2年生3人。

ありがとうございました。



衣類整理の高1新人。ういういしく一生懸命です。



こちらも熱心にセット品をつくっています。

〇はじめての炊き出しボランティアでした。当日の朝は慌ててしまい、エプロンを忘れ、教会の近くの100円ショップへ買いに行きました。 準備の時には、外国の方とも協力で

きました。満足のゆく活動ができたので良かったです。(1年)

○ 初めての経験で、戸惑うことも多かったが、大きなミスをすることなく無事に終えることができて良かった。先輩方を見ていると、指示される前に自ら行動しており、見習わなければいけないと思った。次回は、ホームレスの方々、ボランティアの方々と会話を増やし、もっと触れ合っていきたいと思う。そして、常に自分のできることを探し、与えられた仕事は最後まで責任をもっておこないたい。コミュニケーション力をつけて頑張りたい。(1年)



おむすび手慣れている？



全員集合の作業です。

○ 今回3回目だったんですけど、前2回とも調理担当でしたが、その時教わった料理のしかたと今回のが違って、とても勉強になりました。突然の雨で驚いたけど、全員で協力してできたので良かったです!! (3年)



あっ先輩、それいいんですか？ ——いいのよ、いいのよ。



セット品ですよ。



おじさんたちをみて気遣いです。

○ 良かったことは、前の時よりもスムーズに動くことができたことと、ホームレスの人たちとたくさん話すことができたことです。反省点は、後輩にもっと的確に指示を出せば良かったことです。急な雨で、大変なこともあったけれど、楽しく活動に参加できたので良かった。

たです。(2年)

献品： 今月も小学校保護者より。衣類や米・玉ねぎ・海苔などの献品をお預かりしました。ありがとうございました。

(ボランティア同好会)

夜回り 6月5日(水) 19:00 ～21:10 晴

16:45 友人と待ち合わせした。年齢層の高い正平協にとって、夜回り準備の時に、若い外国人ボランティアの方たちの存在力は大きい。食事への感謝の姿勢も教わった。おいしいおいしいと言って、ほんとうにおいしそうに食べる。場が明るくなる。

今日は先に勾当台公園の巡回を頼まれた。ここには今は、「大統領」と呼ばれる人物が一人いるだけだという。Mさんのことだろう、とすぐに思った。18年ほど前に仙台の街ではじめて夜回りに加わっていた頃から「大統領」はいた。Mさんと呼んでいた。見かけると、当時持っていたタバコを2～3本分けてあげた。タバコ好きなので、喜んでくれた。…勾当台は不在だったので、おむすび類だけ置いて他を回り、帰りにまた寄ったら、いた。やあ、Mさん、と声がけするとキョトンとしていた。無理もない。私は最近街に出ないし、ここにも寄らないから、Mさんに声をかけるのも実に久しぶりである。今はタバコはありません。今度あったらあげますね、と言っておいた。これが再開のあいさつだった。

国際センター裏。顔を見たことない方へ声がけしてくる。表ベンチは空だった。

桜ヶ丘公園のSさん。呼ぶとすぐに起き上がった。おっちゃん(と呼んでいる)。この間置いてったおむすび分かった?——ハイ。——昼間どこいるの?メディアテーク探してもいつもない。——メディア化市民センターか県庁。……汁を鍋へ。米、ボンベ、蚊取り、おむすび・ゆで卵、……あっ、おっちゃん、ヒゲそった?すっきりしてる……。ハイ、そりました。——フフフ。いつ?どこで?——きのう、トイレで。——ふーん、よかったね。…ふろは?からだは洗ってる?——洗いません。……あくまでニコニコしていた。

「生きるか死ぬかの人たちだべえ。」という友人のことばに、「おじさんたちは生きるか死ぬか、考えたことはあっても、考えながら暮らしていないと思う。生きているから、どうやって生きようかと思っていて、ゆきずまってダメなとき、その時死ぬかな、と思うのじゃないかな。」と答えた。

Sさん日記

6/28(金) 校外行事の帰りに寄る。17:30 声をかけると、もうおやすみ中だった。「食べれてますか?手もとに何もないので、おむすび買ってきますか?」「いやいや、大丈夫です。」—なんだか、慰められたような気がした。これから先、Sさんはどうするつもりですか、と、いつ聞こうかと考えていた。公園の中にはよく肥えたネコが何匹もいたが、この日はその栄養の源を見かけた。自転車をとめた中年のご婦人がかごから大きなビニールタッパーを取り出して、歩いていた。容器の中にはなにやらたくさん詰まっていた。なるほど。あれか。

6 / 2 9 (土) 街中での活動へ向かう途中、おむすびを置きに寄った。9:30 不在。

夜回りは毎月第2水曜日におこなっています。炊き出しはその週の土曜日です。いずれも、カトリック正義と平和仙台協議会（代表W）がおこなっている活動に、ボランティアで参加させていただいています。興味のある方は、ご連絡いただいたら、一緒にいたします。

2013/06/30 (Sun) 07:23